

平成30年度 歳入歳出決算の概要

1 経済情勢

直近の国の財政報告によると、平成30年度の我が国経済は、緩やかな回復が続いています。輸出は概ね横ばいとなっているものの、企業収益が過去最高を記録する中で設備投資が増加するとともに、雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが続くなど、経済の好循環が実現しつつあります。

ただし、平成30年夏に相次いだ自然災害により、個人消費や輸出を中心に経済は一時的に押し下げられ、政府は、被災地の復旧・復興を進めるため、第1次補正予算を編成しました。また、追加的な財政需要に対処するため、第2次補正予算を編成し、平成31年2月7日に同予算が成立しました。

雇用・所得環境の改善が続く中、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復していくことが見込まれ、物価の動向をみると、平成30年度前半の原油価格上昇の影響等により、消費者物価（総合）は前年比で上昇しています。この結果、平成30年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は0.9%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は0.9%程度と見込まれ、消費者物価（総合）は1.0%程度の上昇と見込まれています。

なお、先行きのリスクとして、通商問題が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響等に留意する必要があります。

2 国と地方財政

(1) 国の予算等

政府は、平成30年度の予算編成に当たり、構造改革とともに金融政策に成長指向の財政政策を組み合わせることに留意し、財政健全化への着実な取組みを進める一方、「子育て安心プラン」を踏まえた保育の受け皿整備など「人づくり革命」の推進や「生産性革命」の実現に向けた企業による設備や人材への投資、研究開発・イノベーションの促進など重要な政策課題について予算措置を講じるなど、メリハリの効いた予算編成を目指しました。また、我が国財政の厳しい状況を踏まえ、引き続き歳出全般に渡り聖域なき徹底した見直しを推進するとともに、地方においても国の取組みと基調を合わせ見直しを進めることとしました。

国の平成30年度一般会計当初予算規模は、97兆7,128億円で、前年度対比2,581億円、0.3%の増加となりました。歳入では、租税及び印紙収入が59兆790億円で前年度比1兆3,670億円、2.4%増となりました。公債金は33兆6,922億円で、前年度対比6,776億円、2.0%減となり、公債依存度は34.5%と、前年度に比べ0.8ポイント下回りました。

平成30年度の税制改正においては、働き方の多様化等を踏まえ、個人所得課税の見直しを行うとともに、デフレ脱却と経済再生に向け、賃上げ・生産性向上のための税制上の措置を講じています。また、中小企業の代替わりを促進する事業承継税制の拡充や観光促進のための税として国際観光旅客税の創設等を行ったほか、国際課税制度の見直し、税務手続の電子化の推進やたばこ税の見直し等を行いました。

平成30年度当初予算成立後、第1次補正予算では、災害からの復旧・復興等を進めるため一般会計予算規模は9,356億円拡大し、さらに、第2次補正予算では、防災・減災等の必要性・緊急性の高い施策を

実施するため一般会計予算規模は2兆7,097億円拡大し、101兆3,581億円となっています。

令和元年7月時点における平成30年度一般会計決算の概要は、収納済歳入額105兆6,974億円、支出済歳出額98兆9,746億円、差引剰余金は、6兆7,227億円で、純剰余金は1兆3,283億円となっています。税収は、60兆3,563億円、前年度対比2.7%増で、補正後の見積りを4,283億円上回りました。このうち、所得税は、19兆9,005億円で前年度対比5.4%の増、法人税は、12兆3,180億円で前年度対比2.7%の増となっています。

なお、平成30年度末の国・地方合わせた長期債務残高は1,105兆円、国内総生産比200.0%程度と見込まれており、主要先進国中最悪の水準であるなど、極めて深刻な状況にあります。

(2) 地方財政

平成30年度地方財政計画では、厳しい地方財政の現状や経済情勢等を踏まえ、歳出面においては、子ども・子育て支援や地方創生、公共施設等の適正管理に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を反映した計上を行う一方、国の取組みと基調を合わせた歳出改革を行うこととしました。歳入面においては、「経済財政運営と改革の基本方針2015」で示された「経済・財政再生計画」を踏まえ、交付団体をはじめ地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、平成29年度と実質的に同水準を確保することを基本とし、引き続き生じる大幅な財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないよう適切な補填措置を講じることとしました。

この結果、地方財政計画（通常収支分）の規模は、総額86兆8,973億円で、前年度対比2,775億円、0.3%の増、地方債依存度は、10.6%程度で、前年度と同値となっています。平成30年度末における地方の借入金残高は192兆円程度と見込まれ、今後、その元利償還が財政を圧迫する要因となることから、地方財政は構造的に極めて厳しい状況にあります。

3 本市の決算

平成30年度は、「第10次基本計画」の中間年度として、「健康寿命延伸都市・松本」の創造に向けて、生きがいの仕組みづくりをさらに進めるため、5つの重点目標に沿って事業に取り組みました。

「健康ときずなづくり」については、地域包括ケアシステム構築の推進のため、各地域包括支援センター職員を1名ずつ増員し、生活支援体制整備や地域の課題を解決するための取組みを行いました。また、緊急・災害情報等を的確かつ迅速に伝達するため、既存設備が老朽化している梓川・波田地区について、旧松本地区で運用中の同報系デジタル防災行政無線に更新しました。さらに、「人生100年時代を見据えた新しい高齢者の定義について」を長野市と共同提言し、これを契機に、県において「しあわせ信州 生涯活躍応援宣言」がされました。

「次世代を育むまちづくり」については、キッズ&ユースデモクラシー（KYデモクラシー）事業として、子どもや若者の成長を後押しする施策に重点を置いて取り組みました。とりわけ、喫緊の課題である待機児童解消に向けて、保育士の確保や処遇改善、保育コンシェルジュの配置、園舎の大規模改修工事に伴う未満児受入枠の拡大等を行いました。また、教育文化センターを参加・体験型の「宇宙と科学」に特化した科学館として整備するため、新科学館基本構想を策定するとともに、平成30年度から令和元年度の2年間で基本設計を行っています。

「経済の好循環の創出」については、平成29年度に策定した松本市工業ビジョンに掲げる施策を実施する

ため、ICTの活用による産業振興とものづくり産業の支援拠点として、一般財団法人松本ソフト開発センターを発展的に解消し、一般財団法人松本ものづくり産業支援センターを設置しました。

「暮らしと生活の基盤づくり」については、世界的な課題として地球温暖化への対策が叫ばれる中、木質バイオマス熱利用のモデルケースとして竜島温泉せせらぎの湯へチップボイラーを設置し、あわせて燃料供給体制の構築を促しました。これを契機として、民間事業者への木質バイオマスの普及を図り、温室効果ガス削減を推進しています。また、地域主導型公共交通事業について、新たに本郷地区住民を主体として浅間・大村線の運行を開始しました。これにより、市内の地域主導型公共交通事業は5路線となり、地域公共交通の更なる充実を図っています。

「将来世代のためのハード整備」では、「市役所新庁舎」の建設について、市民懇話会、市民ワークショップ、市民説明会などで伺った意見や提案をベースに、新庁舎の建設指針となる「松本市役所新庁舎建設基本構想」を策定するとともに、基本構想に掲げる建設理念や基本的な考え方を具体化する方策等を定める基本計画の策定に着手しました。また、松本まるごと博物館構想による基幹博物館については、建築及び展示の実施設計を進めるとともに、建設予定地の既存施設解体や各種調査を実施するなど、建設に向けた具体的な取組みを行いました。松本城南・西外堀復元事業では、事業用地の取得や復元に向けた発掘調査を実施しましたが、事業用地の一部に自然由来と推定される土壤汚染が確認されたことに伴い、整備手法を堀復元から平面整備へと変更しています。

5つの重点目標以外では、6つのまちづくりの基本目標への取組みとして、経済、産業、観光、教育、環境、都市基盤など様々な分野が連携し、「心と体」の健康づくりと「暮らし」の環境づくりを一体的に進めるため総合的な取組みを展開しました。

特に、「教育・文化」の健康として、開館15年目となるまつもと市民芸術館について、平成30年度から3カ年で、舞台・施設設備関係を中心とした大規模改修を開始しています。また、松本市美術館で開催した草間彌生特別展が盛況のうちに終了し、作者本人から作品売却の承諾が得られたことや、作品の充実により今後更なる集客が見込めることから、新たに草間彌生氏の作品3件52点を購入しました。

その他、「健康寿命延伸都市・松本」をさらに深化させ、新たなステージへと前進させるため、中核市移行に向けた取組みを進め、移行期日を令和3年4月とすることを定めるとともに、庁内に中核市推進室を設置し、長野県及び長野市と保健衛生行政における連携強化に関する協定を締結するなど、移行に向けた準備を加速させました。

この結果、一般会計と特別会計を合わせた決算は、歳入が1,416億8,837万6,283円（前年度対比60億7,080万5,502円、4.1%の減）、歳出は1,381億5,207万8,136円（前年度対比67億1,878万4,698円、4.6%の減）となり、単純に歳入から歳出を差し引いた形式収支は35億3,629万8,147円（前年度対比6億4,797万9,196円、22.4%の増）、翌年度へ繰り越さなければならない財源7億7,132万5,128円を差し引いた実質収支は、27億6,497万3,019円（前年度対比3,035万4,868円、1.1%の減）の黒字決算となりました。

しかしながら、安定した市政運営を進める上での懸念材料として、超少子高齢型人口減少社会の中で伸び続けている社会保障関係費が高い水準で推移する見通しであることや、普通交付税の計算時に合併した市町村に対して時限的に行われている加算措置が令和2年度をもって終了すること、また、海外経済の影響などにより国内の景気が左右され、税収に多大な影響を及ぼすおそれ等があげられます。

今後も、歳出全般に渡る徹底した見直しや、市債借入額の抑制、公共施設等総合管理計画に基づく公共

施設の整理などにより、健全財政の堅持に努めるとともに、商工業や農林業、観光産業等の振興による税財源基盤の強化や、基金の有効活用などの臨機応変な対応を図り、持続可能なまちづくりのための行財政基盤の確立に取り組む必要があります。

平成30年度 会 計 別

会 計 別		歳 入					
		予算現額	調 定 額	収 入 済 額 (A)	収入率	不納欠損額	収入未済額
一 般 会 計		円 91,028,317,724	円 91,146,650,861	円 89,800,719,855	% 98.7	円 96,681,060	円 1,249,249,946
特 別 会 計	霊 園	136,020,000	146,558,114	141,565,484	104.1	43,900	4,948,730
	地域排水施設事業	91,340,000	92,655,096	90,367,796	98.9	0	2,287,300
	国民健康保険 (事業勘定)	24,192,430,000	25,942,320,515	24,111,552,280	99.7	266,374,986	1,564,393,249
	国民健康保険 (直診勘定)	66,080,000	61,469,629	61,469,629	93.0	0	0
	後期高齢者医療	3,003,950,000	3,029,539,045	3,003,177,083	100.0	7,931,050	18,430,912
	介護保険 (事業勘定)	21,785,930,000	21,716,074,611	21,591,031,124	99.1	42,775,854	82,267,633
	介護保険 (サービス事業勘定)	98,540,000	95,963,687	95,963,687	97.4	0	0
	農業集落排水事業	162,580,000	153,875,832	153,660,332	94.5	0	215,500
	公設地方卸売市場	495,450,000	474,439,499	474,439,499	95.8	0	0
	市街地駐車場事業	685,060,000	678,845,564	678,845,564	99.1	0	0
	新松本工業団地 建設事業	645,150,000	645,168,858	645,168,858	100.0	0	0
	奈川観光施設事業	203,600,000	203,012,158	203,012,158	99.7	0	0
	松 本 城	634,620,000	637,402,934	637,402,934	100.4	0	0
	小 計	52,200,750,000	53,877,325,542	51,887,656,428	99.4	317,125,790	1,672,543,324
合 計		143,229,067,724	145,023,976,403	141,688,376,283	98.9	413,806,850	2,921,793,270

決 算 一 覧 表

* 歳入歳出差引額欄の〔 〕内の数字は翌年度への繰越財源控除後の実質収支を示す。

予算現額と収入 済額との比較	歳 出					歳入歳出差引額 (A) - (B) 形 式 収 支 〔 実 質 収 支 〕
	予 算 現 額	支 出 済 額 (B)	執 行 率	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	
円 △ 1, 227, 597, 869	円 91, 028, 317, 724	円 87, 443, 590, 695	% 96. 1	円 1, 905, 345, 528	円 1, 679, 381, 501	円 2, 357, 129, 160 〔 1, 592, 870, 632〕
5, 545, 484	136, 020, 000	93, 950, 831	69. 1	0	42, 069, 169	47, 614, 653
△ 972, 204	91, 340, 000	90, 367, 796	98. 9	0	972, 204	0
△ 80, 877, 720	24, 192, 430, 000	23, 437, 382, 800	96. 9	0	755, 047, 200	674, 169, 480
△ 4, 610, 371	66, 080, 000	61, 469, 629	93. 0	0	4, 610, 371	0
△ 772, 917	3, 003, 950, 000	2, 913, 965, 783	97. 0	0	89, 984, 217	89, 211, 300
△ 194, 898, 876	21, 785, 930, 000	21, 300, 056, 451	97. 8	0	485, 873, 549	290, 974, 673
△ 2, 576, 313	98, 540, 000	95, 963, 687	97. 4	0	2, 576, 313	0
△ 8, 919, 668	162, 580, 000	153, 660, 332	94. 5	0	8, 919, 668	0
△ 21, 010, 501	495, 450, 000	474, 439, 499	95. 8	0	21, 010, 501	0
△ 6, 214, 436	685, 060, 000	678, 845, 564	99. 1	0	6, 214, 436	0
18, 858	645, 150, 000	643, 668, 885	99. 8	0	1, 481, 115	1, 499, 973
△ 587, 842	203, 600, 000	203, 012, 158	99. 7	0	587, 842	0
2, 782, 934	634, 620, 000	561, 704, 026	88. 5	15, 033, 600	57, 882, 374	75, 698, 908 〔 68, 632, 308〕
△ 313, 093, 572	52, 200, 750, 000	50, 708, 487, 441	97. 1	15, 033, 600	1, 477, 228, 959	1, 179, 168, 987 〔 1, 172, 102, 387〕
△ 1, 540, 691, 441	143, 229, 067, 724	138, 152, 078, 136	96. 5	1, 920, 379, 128	3, 156, 610, 460	3, 536, 298, 147 〔 2, 764, 973, 019〕